

神戸で一番よい学校です

スバルが丘学園理事長 岸本 進

<創立105年の伝統校>

本校は歴史と伝統に輝く学校です。大正2年・1913年創立、平成25年5月2日には100周年を迎えました。

神戸女子高等技芸学校創立以来、今や卒業生は3万人を超えています。

<青春の丘に立つ神戸で一番よい学校>

平成12年4月、男女共学実施に伴い、校名をスバルが丘学園・神戸第一高等学校と変更しました。

「スバルが丘」とは「青春の丘」、「神戸第一高校」とは「神戸で一番よい学校」ということです。「青春の丘に立つ神戸で一番よい学校」でそれぞれの生徒が、持てる能力を存分に発揮しながら、夢を叶えるため日々努力を積み重ねています。

<1人ひとりの個性を伸ばせる7つのコース>

本校は、7つのコースをもつ総合高校です。本年度から、新たに「保育・福祉コース」を新設し、本校卒業後に進学をし、保育士の資格取得等に向けて学ぶことができるようになりました。

また、「製菓衛生師コース」のコース名を「パティシエ・ブーランジェコース」と名称変更しました。異国情緒あふれる国際都市神戸の地でおいしいパン作りを学べるコースとしました。

本校は、コースの特色を生かした有名企業への就職、国公立大学や有名私立大学への進学をめざす学校です。本校には1000本余りの桜の樹があります。その桜にも早咲き遅咲きと様々です。しかし、いずれの樹も必ず満開となります。

青春のまっただ中、神戸で一番よい学校、神戸第一高等学校で、緑のイオンを胸いっぱい吸い込んで、青春の炎を赤々と燃やし、夢を実現させ大きな花を満開にさせましょう。



ご挨拶

校長 内海 芳樹

神戸第一高等学校のホームページをご覧いただき、ありがとうございます。

今年度、第10代校長として着任しました。どうぞよろしくお願ひします。

本校は、大正2年(1913年)に神戸女子高等技芸学校として設立され、昭和32年(1957年)に、校名を塩原女子高等学校に改名、その後、平成12年(2000年)より男女共学高校として新たに校名を「スバルが丘学園 神戸第一高等学校」に改め、今年度で創立105年を迎えた歴史と伝統のある学校です。校是を“Learning by Doing”「為すことによって学ぶ」とし、その精神を受け継ぎつつ飛躍し続けており、地域にとどまらず、広く国内外で活躍する有為な人材を多数輩出しております。

本校は、7分野(普通、スポーツ、情報処理、ファッションデザイン、保育・福祉、調理師、パティシエ・ブーランジェ)の専門コースを設けており、豊かな体験や学びを通して、それぞれの分野のスペシャリストの養成を目指しています。また、生徒と教職員が一体となって「神戸で一番よい学校になろう」を合言葉に日々教育活動を行っています。

今年の新入生を迎えるかのように、4月には、新たに多くの機能を備える生徒会館「スバルホール」が誕生しました。あわせて念願であった食堂もオープンし、更なる教育環境の整備と進化を図っています。

これからも、本校の歴史と伝統を受け継ぎながら、校訓「努力、創造、協調」の具現化を図る中で、「不易」と「流行」を融合させつつ、地域に根ざし、地域とともにある学校として、地域の期待に応えられるよう努めていく所存です。引き続き、本校に対してご支援ご協力を賜りますようよろしくお願ひします。

2018(平成30年)4月

